

2024年3月期 決算説明会



2024年5月8日

トヨタ自動車株式会社

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- 為替相場(主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、加ドルおよび英国ポンドの相場)、株価および金利の変動
- 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ブランド・イメージの毀損
- 仕入先への部品供給の依存
- 原材料価格の上昇
- デジタル情報技術および情報セキュリティへの依存
- 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- 生産および販売面への影響を含む、自然災害および感染症の発生・蔓延、不安定な政治・経済、燃料供給の不足、社会基盤の障害、戦争、テロ、ストライキなどによる様々な影響
- 気候変動および低炭素経済への移行の影響
- 有能で多様な人材を確保・維持する能力

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意：

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家（第一次情報受領者）は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています（金融商品取引法166条）。

同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知し

かつ内閣府令で定める電磁的方法（TDnetの適時開示情報閲覧サービス）により掲載された時点をもって「公表」されたものとみなされます。

2024年3月期 決算サマリー

高い業績を活かし、未来への人的投資、成長投資を加速

24年3月期 実績

長年の「商品と地域を軸にした経営」が実を結び、一段高い収益レベルを実現

仕入先・販売店を含め全てのステークホルダーの皆さまのご支援に感謝

- 営業利益：5.35兆円

25年3月期 見通し

収益構造を維持した上で、
多くのステークホルダーの皆さまと共に持続的に成長するため、
未来への投資 合計2兆円

- 営業利益：4.3兆円

- 人への投資：3,800億円（うち、仕入先/販売店 3,000億円）

…自動車産業全体の魅力を高めるための、仕入先/販売店の労務費負担、従業員の環境改善などに対する投資

- モビリティカンパニーへの変革に向けた投資：1.7兆円

…マルチパスウェイ戦略の具現化（BEV・水素など）

トヨタらしいSoftware Defined Vehicleの基盤づくり（ソフトウェア・AIなど）

株主還元

長期保有の株主の皆さまに報いる方針

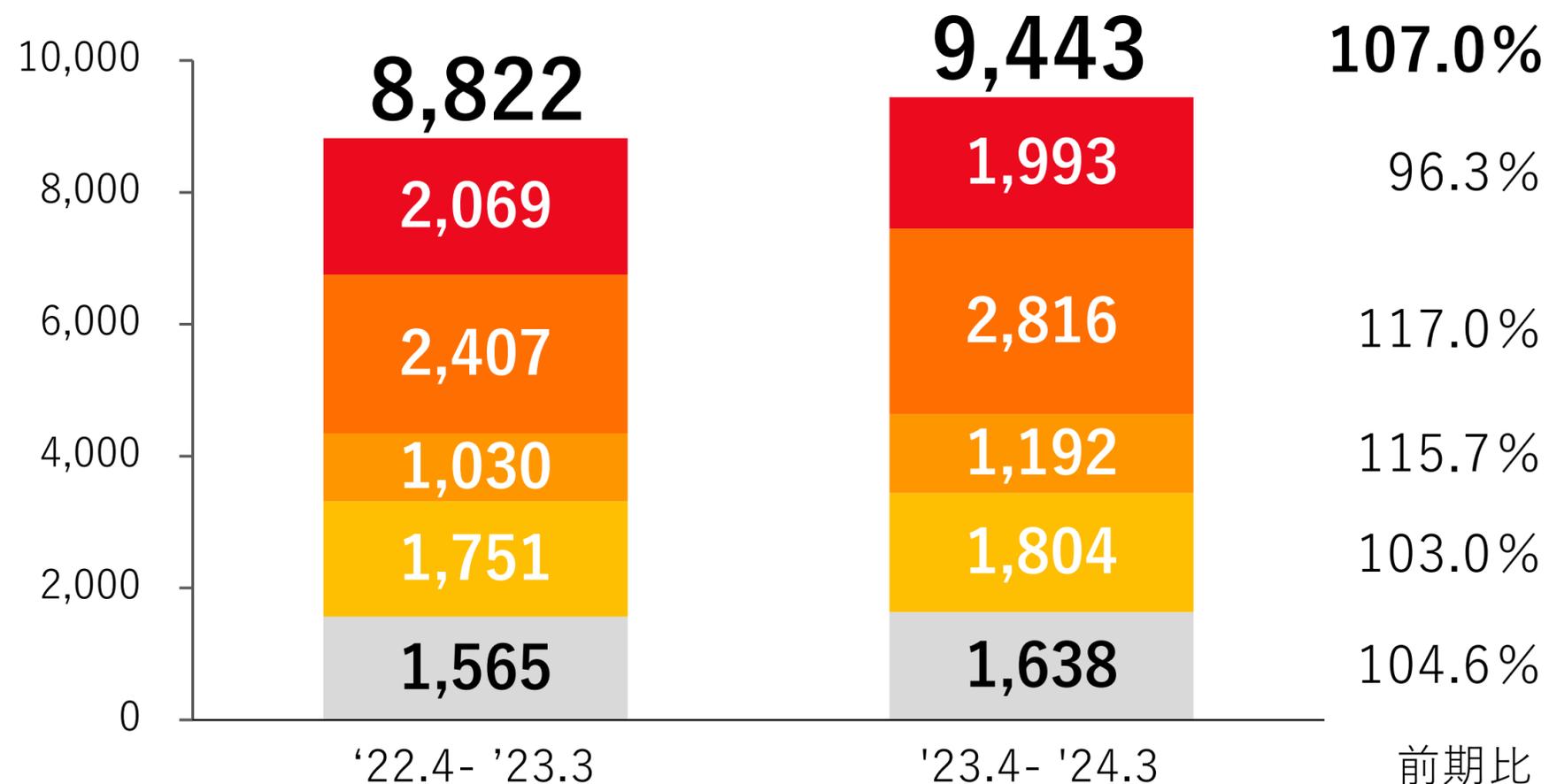
- 配当：期末45円（+10円）、年間75円（+15円）、総額1兆円超え

- 自己株式：上限1兆円の取得枠設定、5.2億株 2兆円相当(24年3月末時点時価)を消却

2024年3月期 実績

連結販売台数

(単位：千台)



ご参考 (小売)

トヨタ・レクサス販売台数	9,610	10,309	107.3%
電動車 [比率]	2,849 [29.6%]	3,855 [37.4%]	135.3%
内、HEV	2,720	3,594	132.1%
PHEV	88	141	160.3%
BEV	38	117	310.1%
FCEV	3	4	111.3%
グループ総販売台数	10,558	11,090	105.0%

連結決算要約

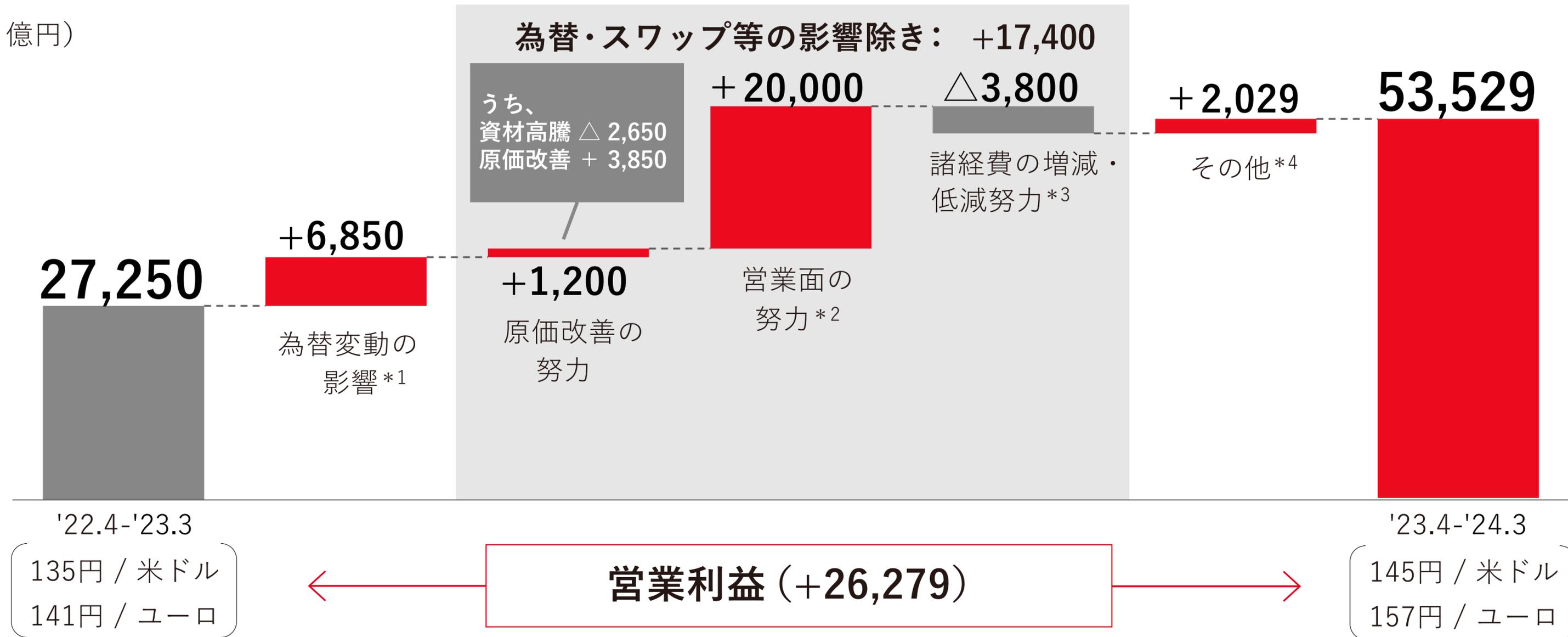
TOYOTA

(単位：億円)		'22.4-'23.3	'23.4-'24.3	増減
営業収益		371,542	450,953	+79,410
営業利益		27,250	53,529	+26,279
営業利益率		7.3%	11.9%	
営業外損益		9,437	16,121	+6,684
持分法による投資損益		6,430	7,631 *	+1,200
税引前利益		36,687	69,650	+32,963
親会社の所有者に帰属する当期利益		24,513	49,449	+24,936
当期利益率		6.6%	11.0%	
為替レート	米ドル	135円	145円	10円円安
	ユーロ	141円	157円	16円円安

* うち、日本4,131（前期比+1,344）、中国2,689（同△360）、その他810（同+216）

連結営業利益増減要因

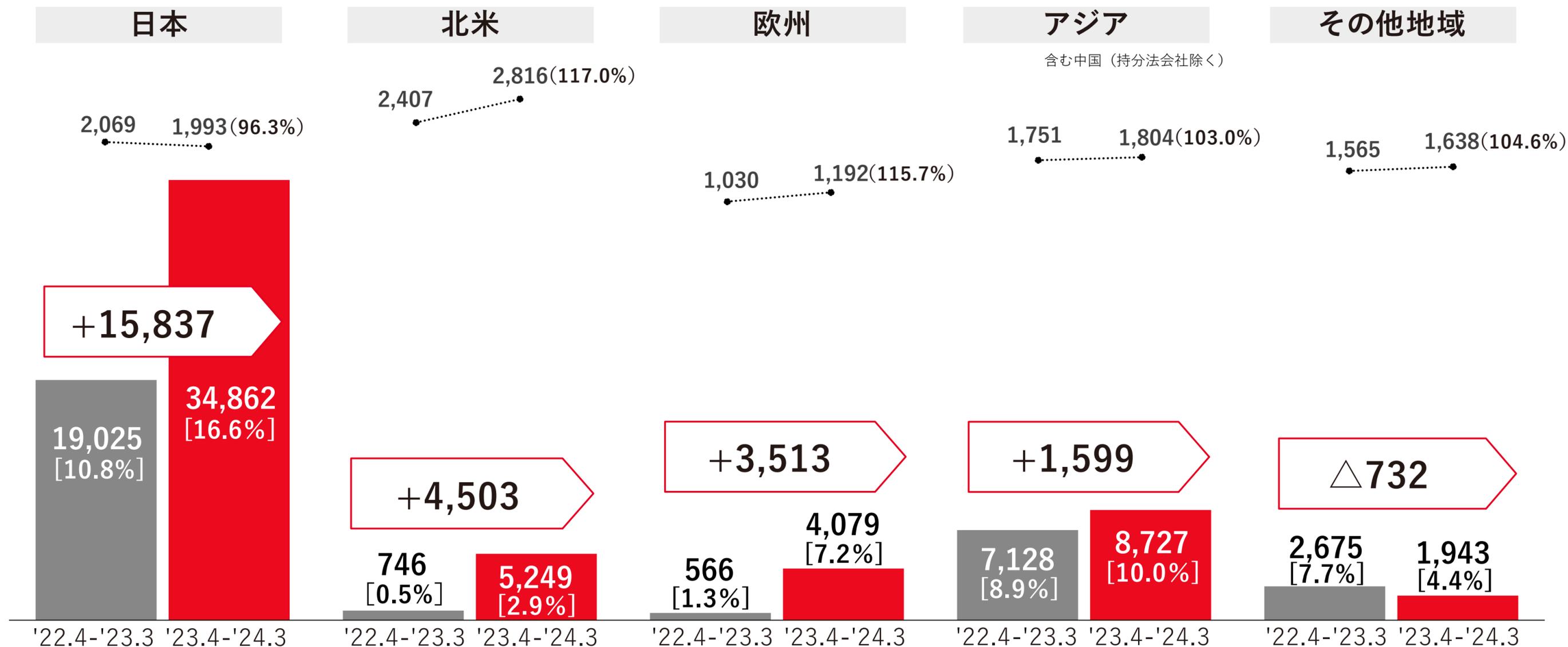
(単位：億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	+5,900	台数・構成	+9,800	労務費	△2,250	スワップ等の評価損益	+1,405
（ - 米ドル	+4,700	バリューチェーン	+1,000	減価償却費	±0	ロシア生産終了 (前期の一時費用)	+995
（ - ユーロ	+1,450	（ - 金融事業	△600	研究開発費	+50	インフレ会計等の影響	△1,853
（ - その他通貨	△250	（ - 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	+1,600	経費ほか	△1,600	その他	+1,482
海外子会社の営業利益換算差ほか	+950	その他	+9,200				

所在地別営業利益

■ 営業利益（億円） <金利スワップ取引などの評価損益を除く> [] 営業利益率 ●---● 連結販売台数（千台）



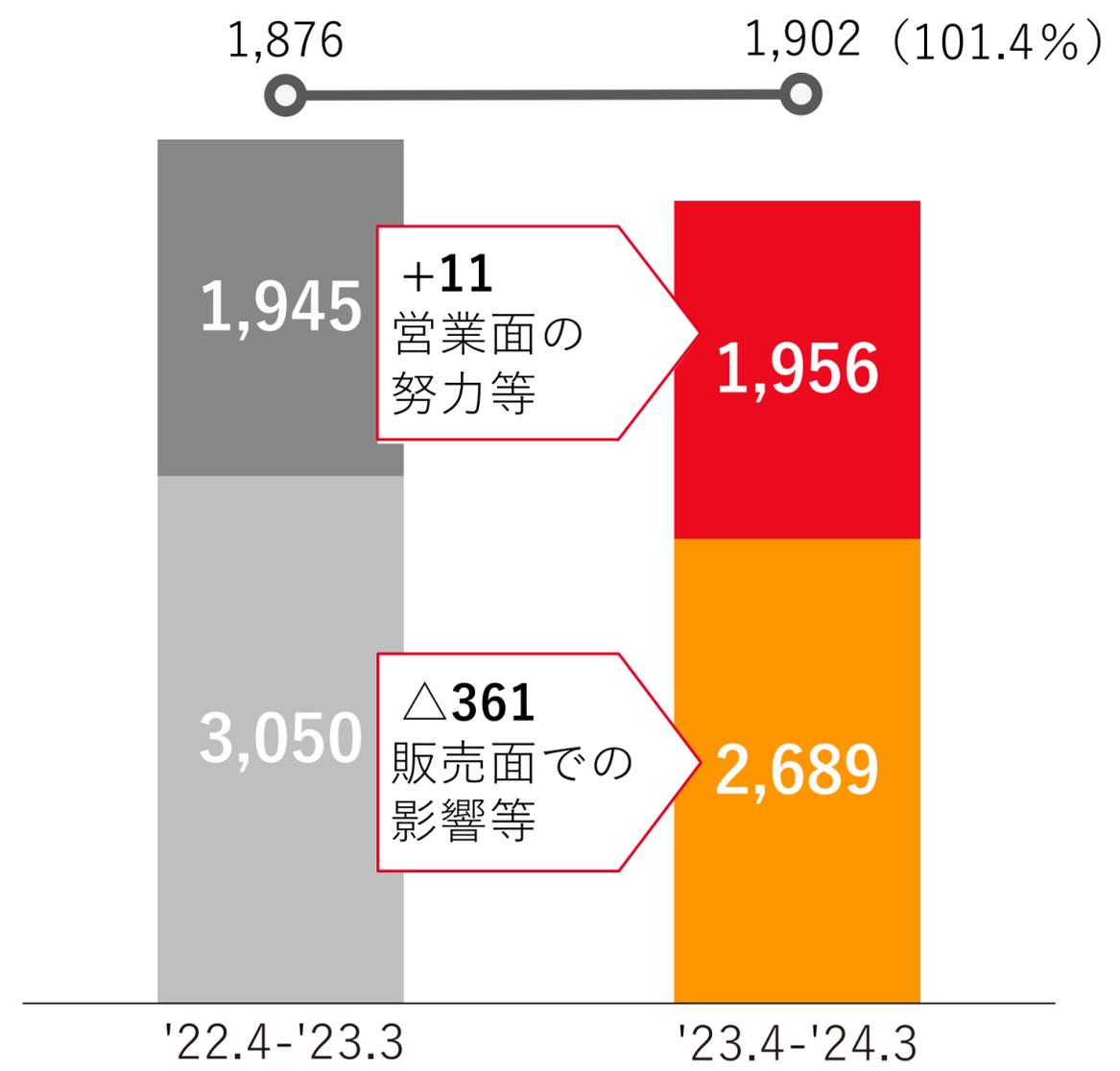
金利スワップ取引などの評価損益を含む営業利益（億円）

19,014	34,842	△747	5,063	574	3,880	7,144	8,655	2,313	1,983
--------	--------	------	-------	-----	-------	-------	-------	-------	-------

中国事業/金融セグメント

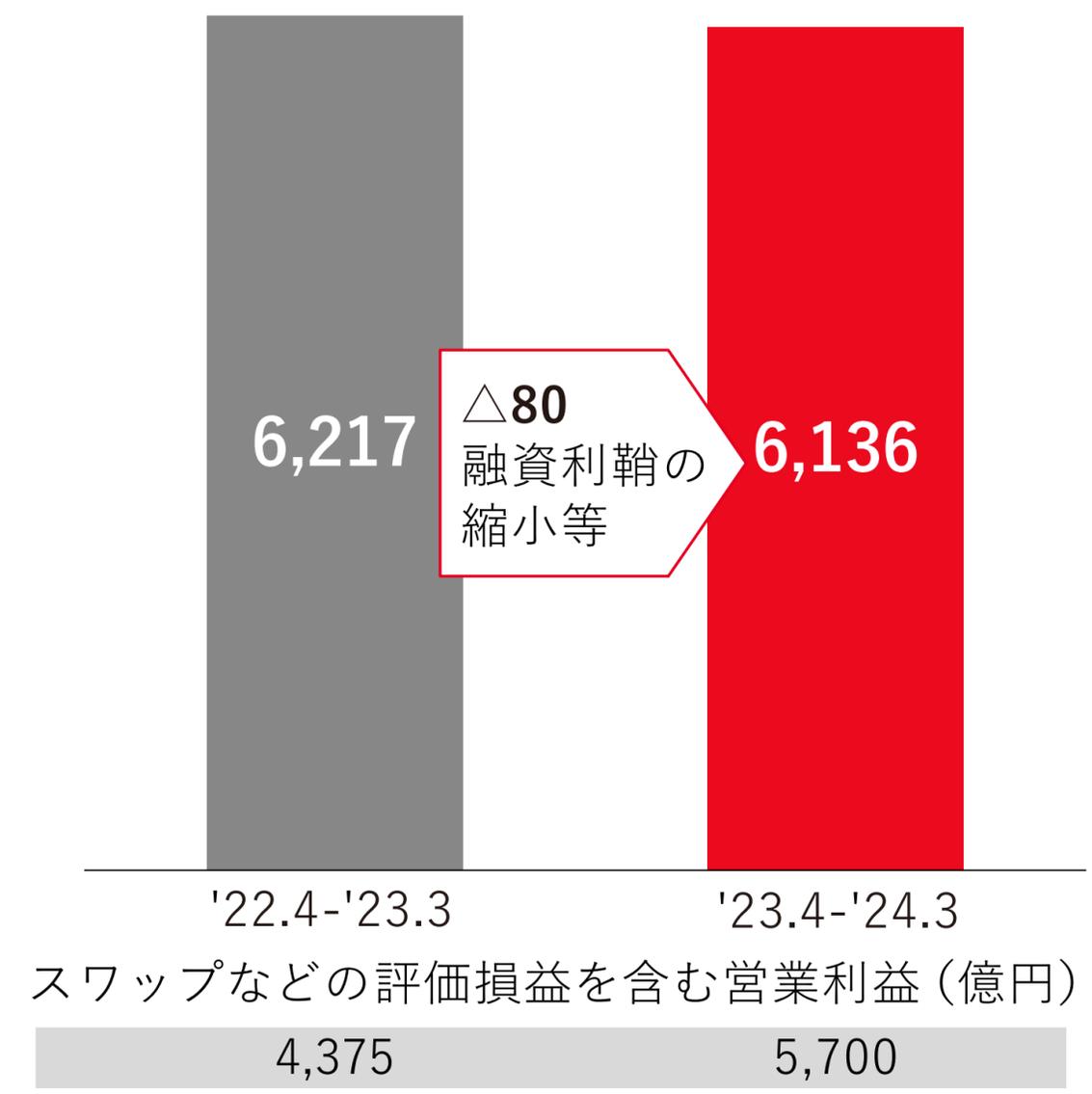
中国事業（ご参考）

- 連結子会社 営業利益（億円）
- 持分法適用会社 持分法による投資損益（億円）
- トヨタ・レクサス販売台数（千台）



金融セグメント

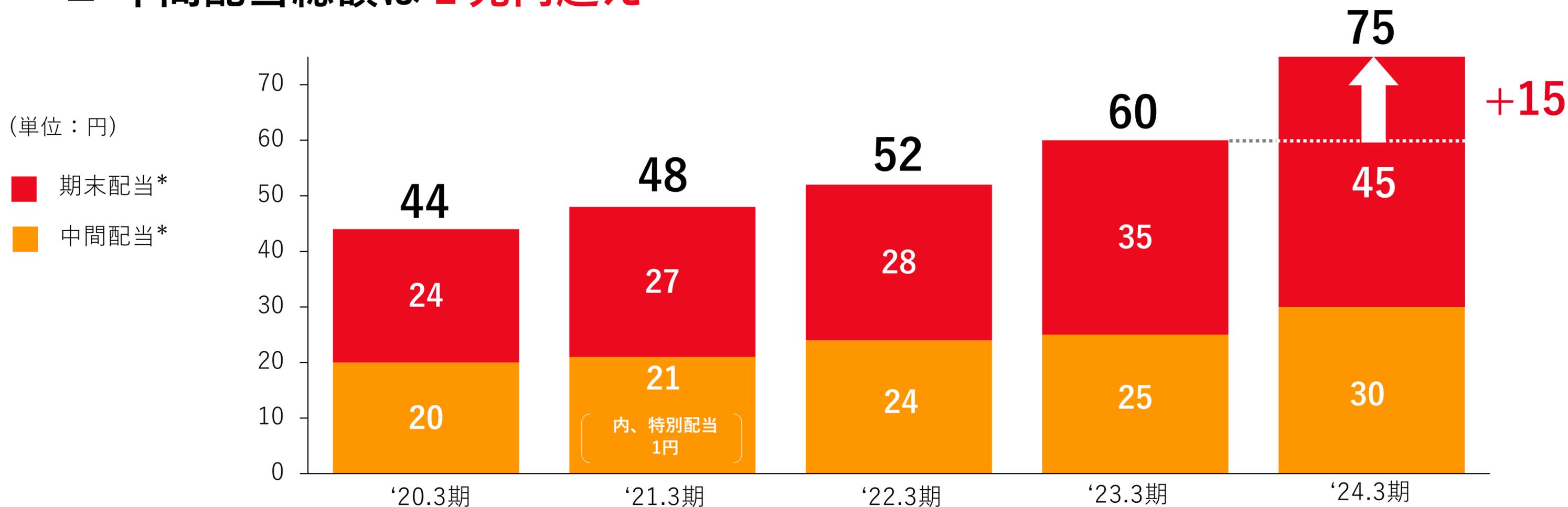
- 営業利益（億円） <スワップなどの評価損益を除く>



株主還元

配当金

- 長期保有の株主の皆様へ報いるため、『**安定的・継続的に増配を実施**』する方針
- 期末：**45円**（前期比+10円）、年間：**75円**（前期比+15円）
- 年間配当総額は**1兆円超え**

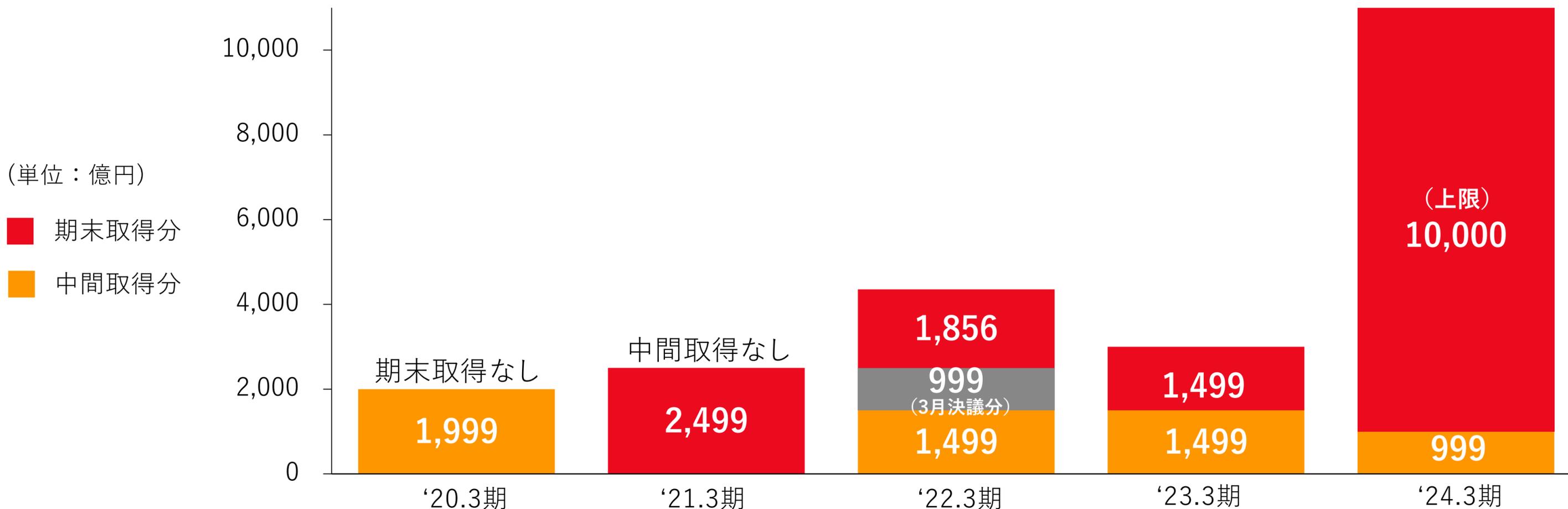


中間	配当総額 (億円)	2,789	2,935	3,324	3,421	4,054
年間	配当総額 (億円)	6,108	6,710	7,182	8,169	10,117

* 2021年10月1日に当社普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。'20.3期の期首に当該分割が行われたと仮定して算出。

自己株式取得

- 『株価水準を踏まえ機動的に実施する』 とともに、
『必要に応じて当社株式の売却要請に応える』
- 期末：上限 1 兆円（前期比+8,500億円）
- なお、5.2億株 2兆円相当（24年3月末時点 時価）を消却

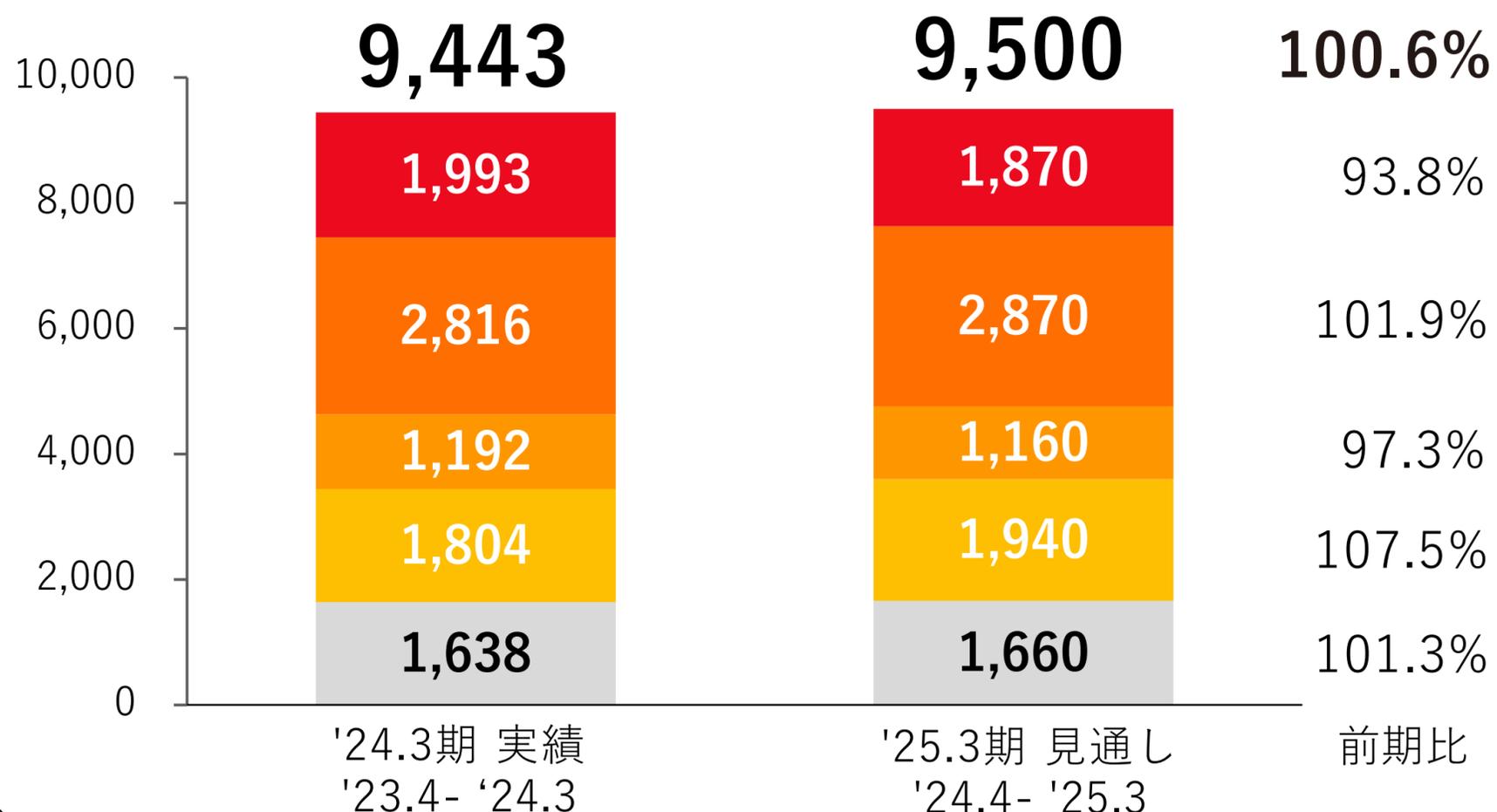


自己株式取得	1,999	2,499	4,356	2,999	10,999 [上限]
配当総額	6,108	6,710	7,182	8,169	10,117
総還元額	8,108	9,210	11,538	11,169	21,117 [上限]

2025年3月期 見通し

連結販売台数見通し

(単位：千台)



ご参考 (小売)

トヨタ・レクサス販売台数	10,309	10,400	100.9%
電動車 [比率]	3,855 [37.4%]	4,827 [46.4%]	125.2%
内、HEV	3,594	4,476	124.5%
PHEV	141	176	124.8%
BEV	117	171	146.2%
FCEV	4	4	100.0%
グループ総販売台数	11,090	10,950	98.7%

連結決算見通し要約

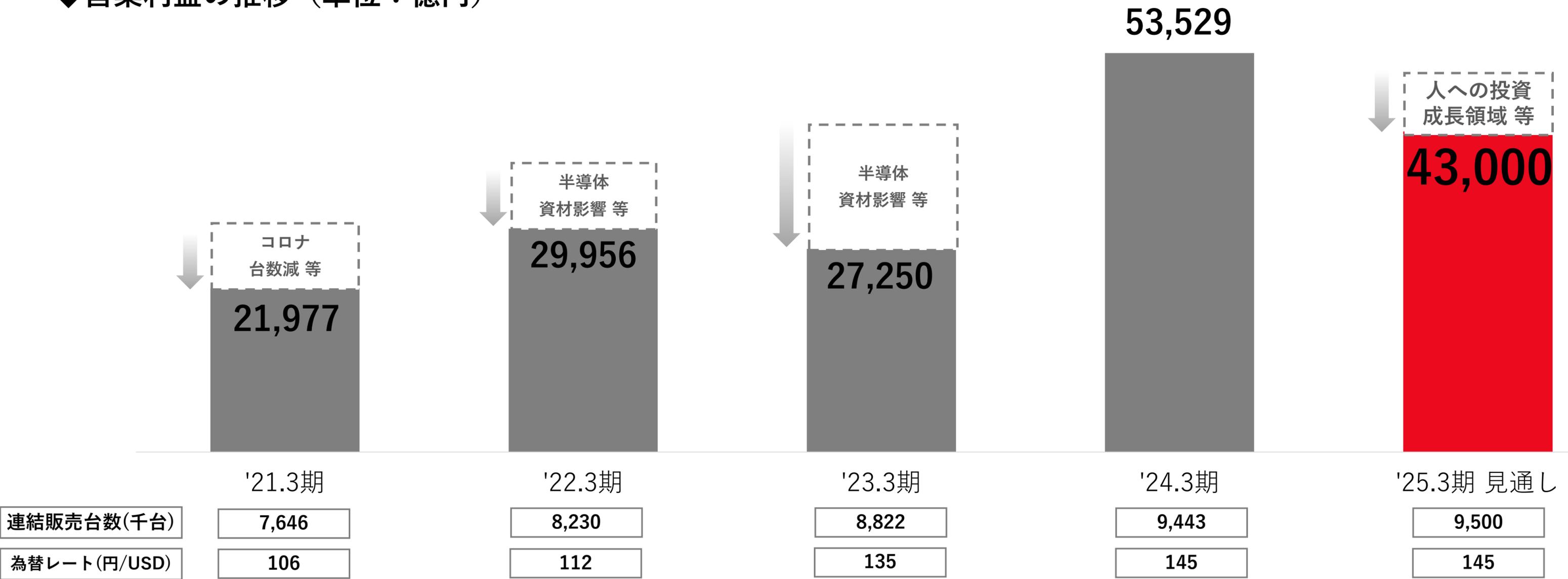
(単位：億円)

	'24.3期実績 '23.4-'24.3	'25.3期見通し '24.4-'25.3	増減
営業収益	450,953	460,000	+9,047
営業利益	53,529	43,000	△10,529
営業利益率	11.9%	9.3%	
営業外損益	16,121	7,700	△8,421
持分法による投資損益	7,631	6,800	△831
税引前利益	69,650	50,700	△18,950
親会社の所有者に帰属する当期利益	49,449	35,700	△13,749
当期利益率	11.0%	7.8%	
為替レート			
米ドル	145円	145円	±0
ユーロ	157円	160円	3円円安

連結営業利益推移

- '23.3期まで：コロナ感染拡大、半導体供給ひっ迫、資材価格高騰などの影響
- '24.3期：事業環境が安定化し、収益構造強化の取り組みが結実

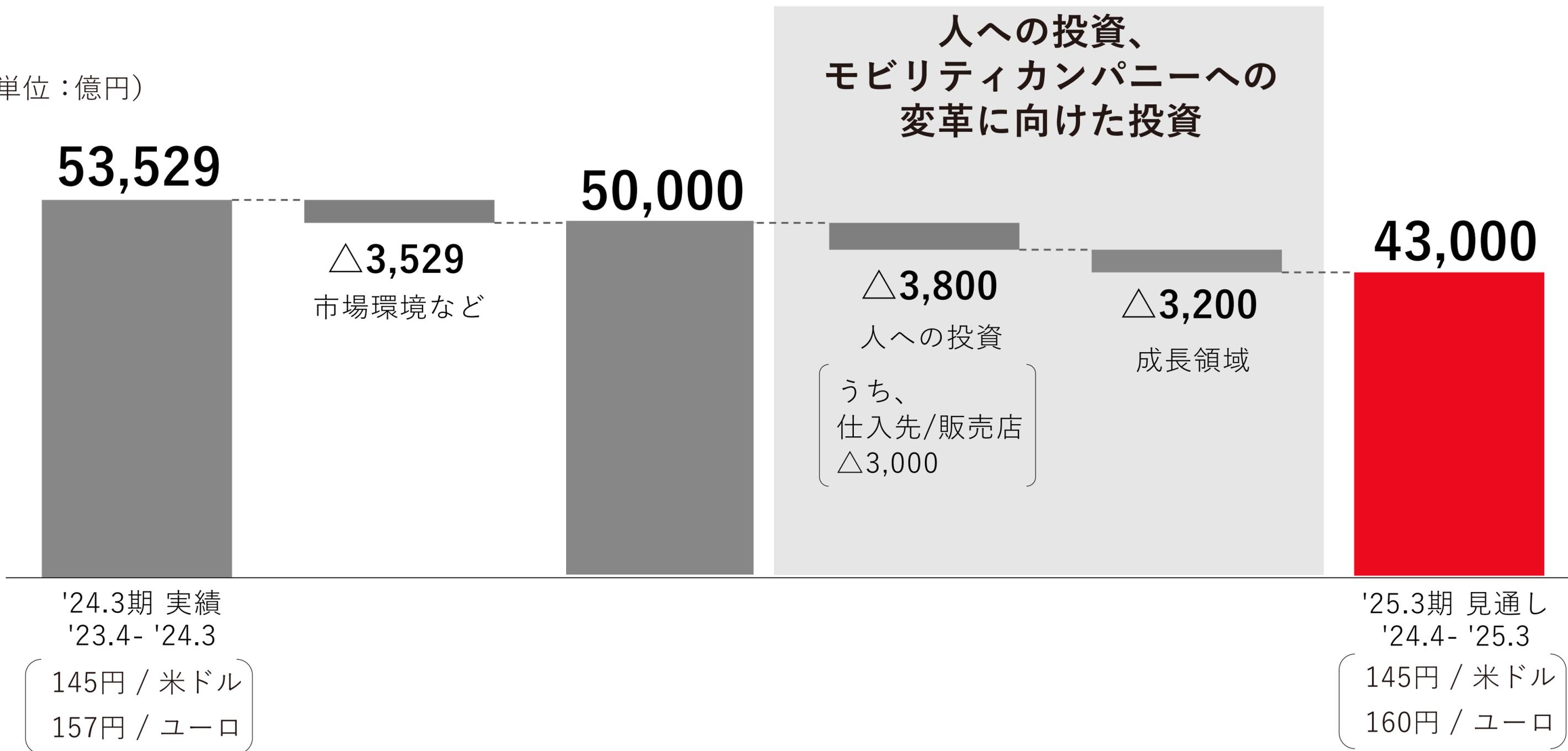
◆営業利益の推移（単位：億円）



連結営業利益増減要因(前期差)

■ '25.3期：多くのステークホルダーの皆さまと共に持続的に成長するため、
未来への人的投資、モビリティカンパニーへの変革に向けた投資を加速

(単位：億円)

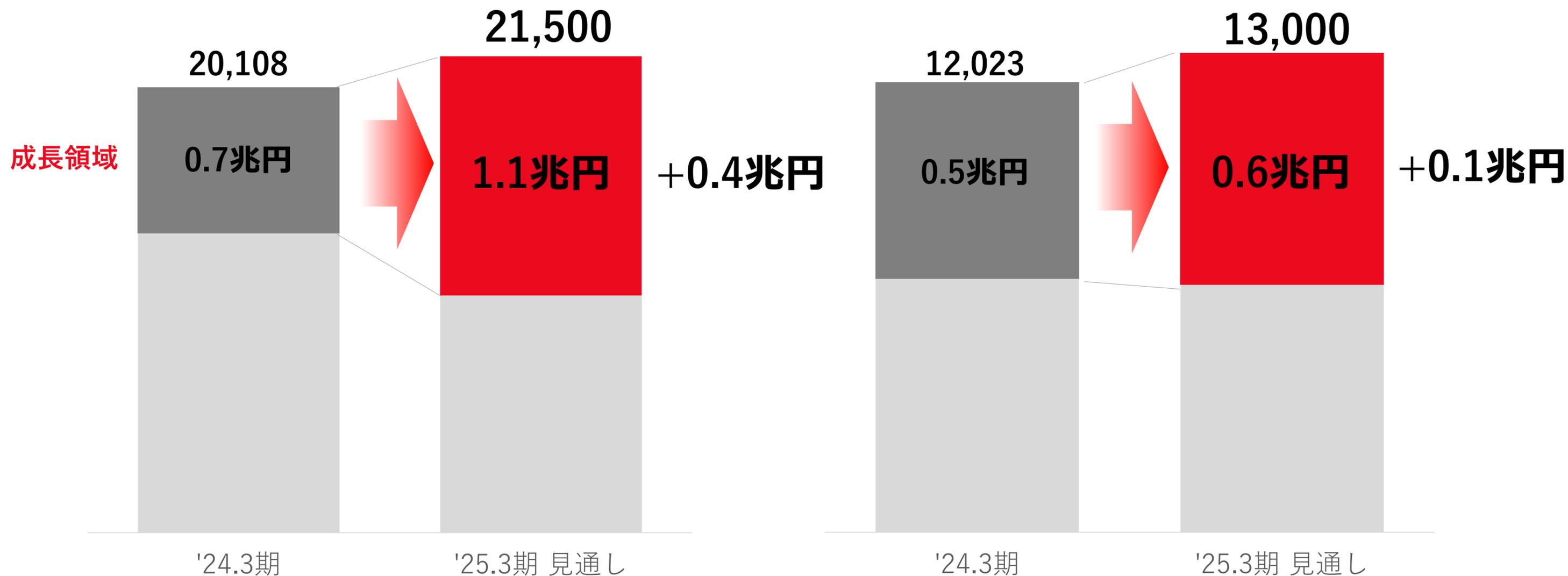


モビリティカンパニーへの変革に向けた投資

- マルチパスウェイ戦略の具現化(BEV、水素など)、トヨタらしいSoftware Defined Vehicle基盤づくり(ソフトウェア、AIなど)への投資加速
→ 成長領域への投資：1.7兆円（前期から+ 0.5兆円）

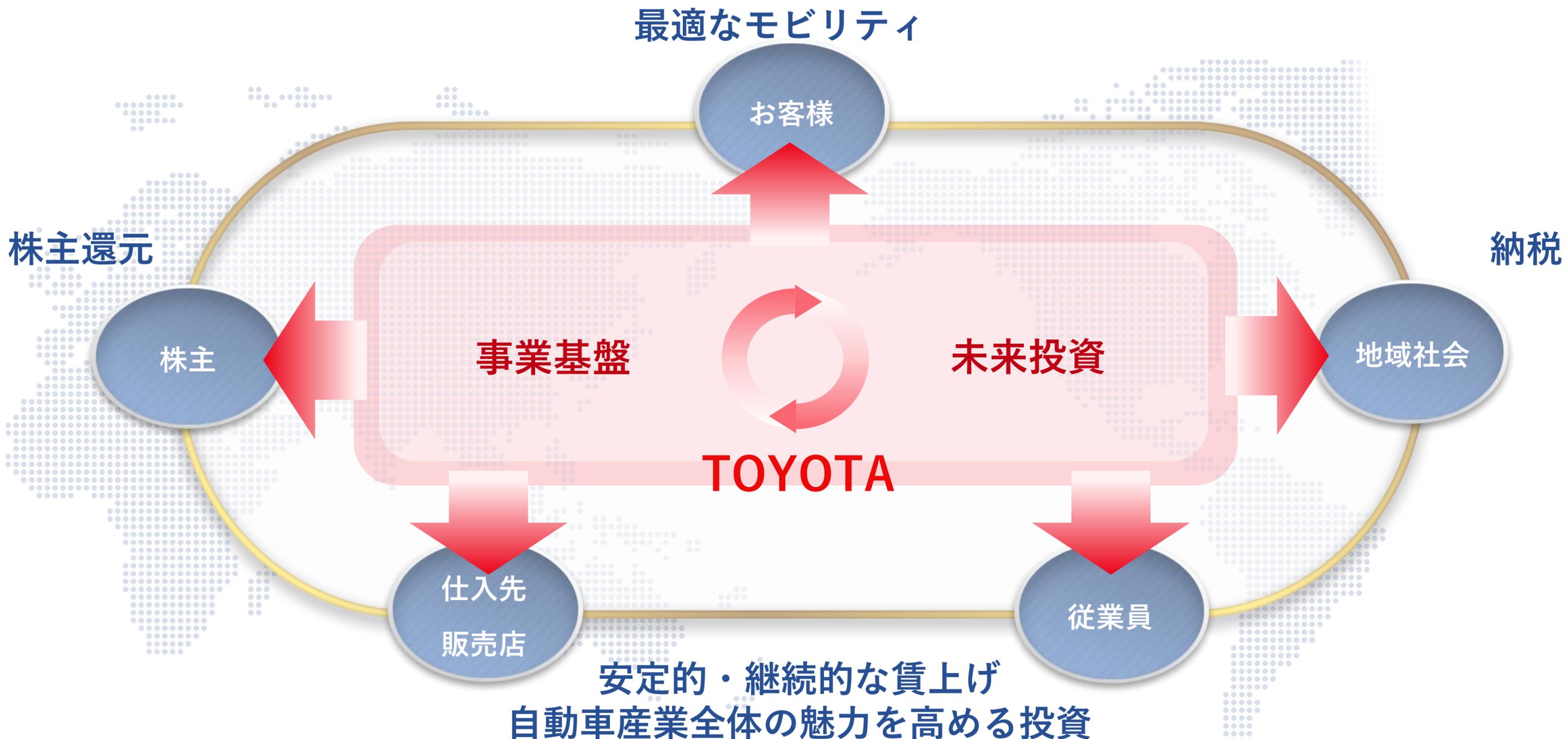
◆設備投資（単位：億円）

◆研究開発費（単位：億円）



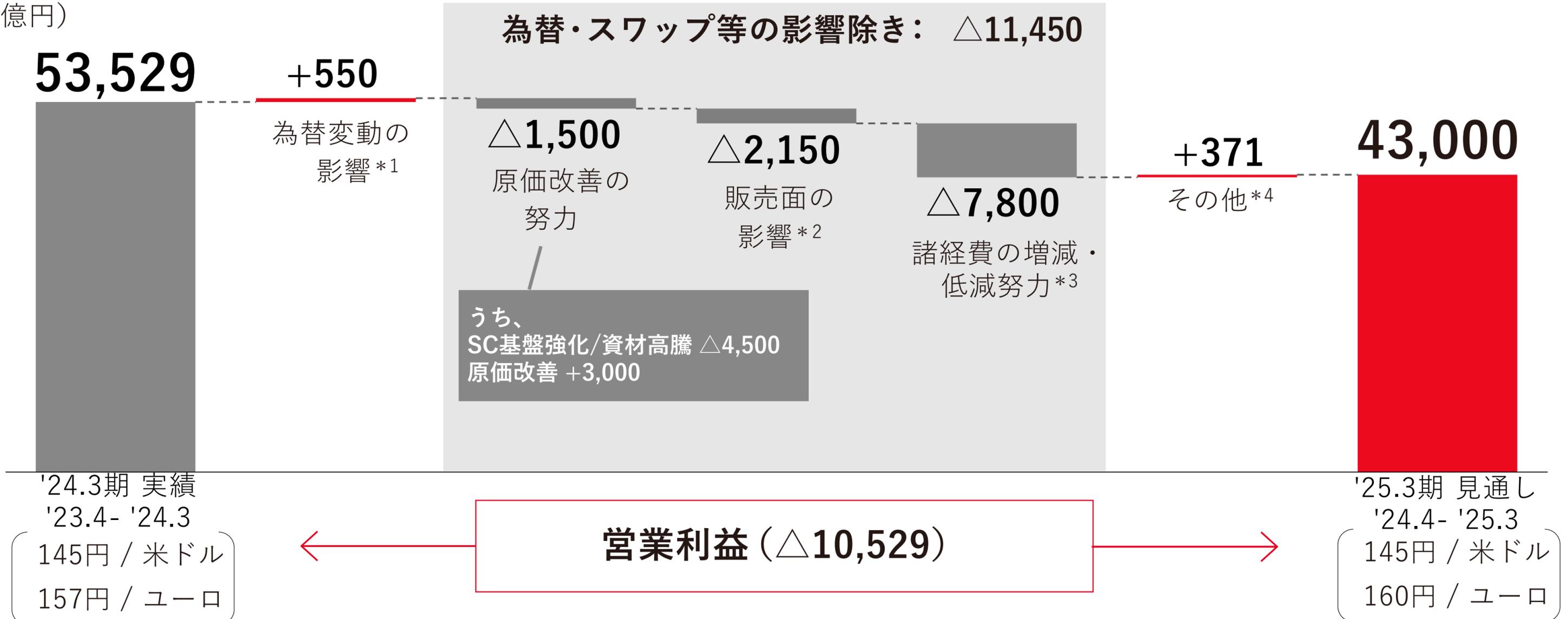
共に成長するサイクル

これからも、ステークホルダーの皆様と共に成長していく



(ご参考) 連結営業利益増減要因(前期差)

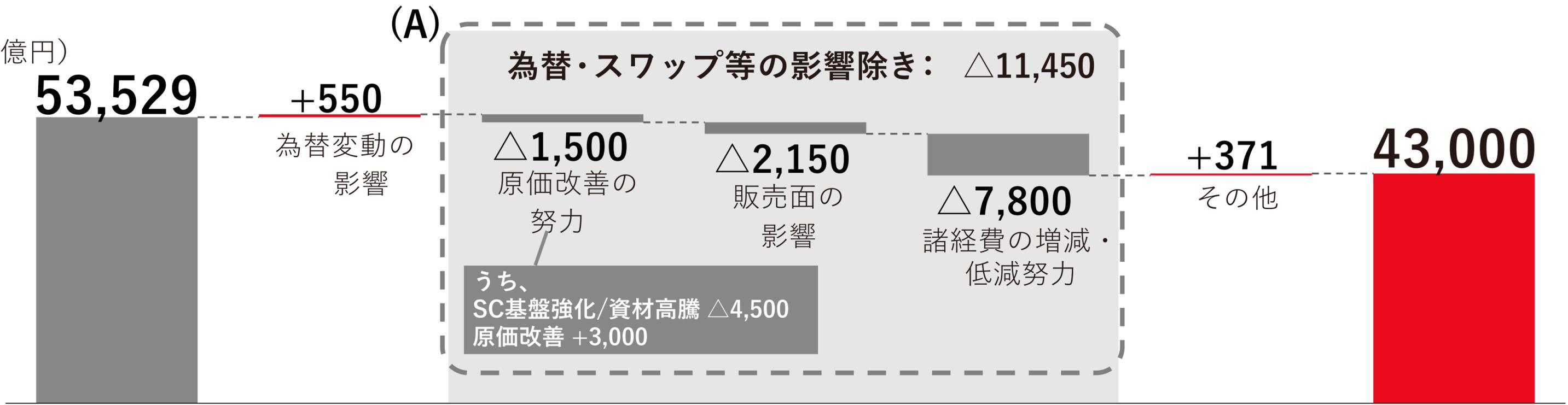
(単位:億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	$\Delta 1,100$	台数・構成	+1,750	労務費	$\Delta 2,050$	スワップ等の評価損益	$\Delta 50$
- 米ドル	+150	バリューチェーン	+450	減価償却費	$\Delta 1,300$	インフレ会計等の影響	+428
- ユーロ	+300	- 金融事業	$\Delta 500$	研究開発費	$\Delta 1,000$	その他	$\Delta 7$
- その他通貨	$\Delta 1,550$	- 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	+950	経費ほか	$\Delta 3,450$		
海外子会社の営業利益換算差ほか	+1,650	その他	$\Delta 4,350$				

(ご参考) 連結営業利益増減要因(前期差) 内訳

(単位: 億円)



'24.3期 実績
'23.4- '24.3

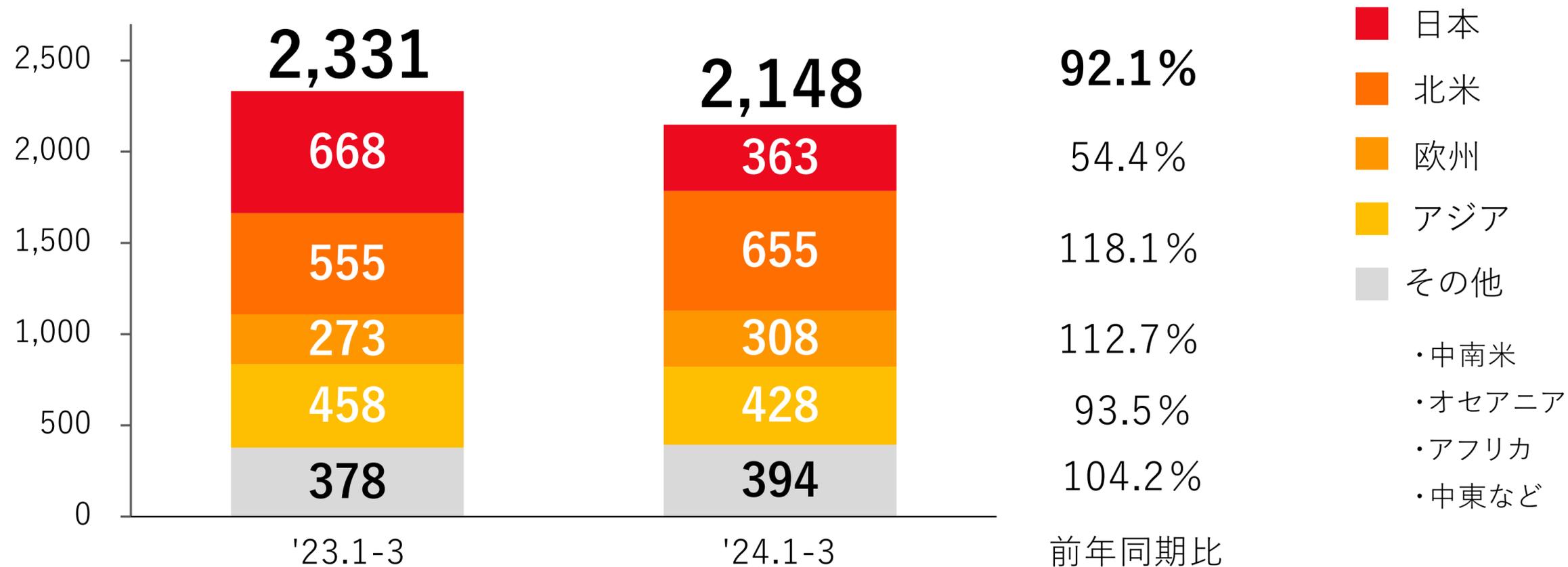
'25.3期 見通し
'24.4- '25.3

	原価改善の努力	販売面の影響	諸費用の増減・低減努力	計
①市場環境		$\Delta 3,529$		$\Delta 3,529$
②人への投資	$\Delta 3,000$	$\Delta 200$	$\Delta 600$	$\Delta 3,800$
③成長投資			$\Delta 3,200$	$\Delta 3,200$

(A)から ①②③を控除	$+1,500$	$+1,579$	$\Delta 4,000$	$\Delta 921$
-----------------	----------	----------	----------------	--------------

(ご参考) 連結販売台数 (3ヶ月)

(単位：千台)



ご参考 (小売)

トヨタ・レクサス販売台数	2,399	2,401	100.1%
電動車 [比率]	842 [35.1%]	1,018 [42.4%]	120.8%
内、HEV	801	948	118.3%
PHEV	23	39	171.3%
BEV	17	30	172.3%
FCEV	1	1	89.9%
グループ総販売台数	2,669	2,526	94.6%

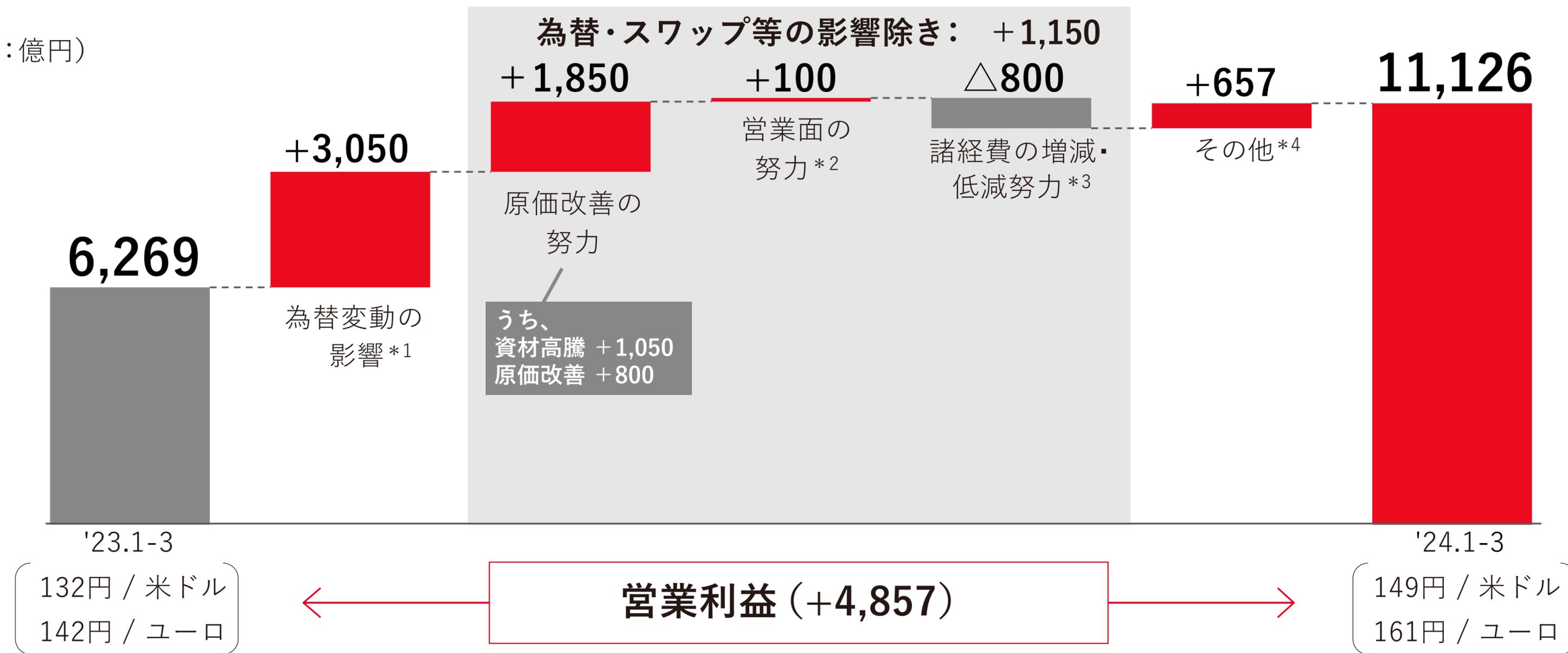
(ご参考) 連結決算要約(3ヶ月)

(単位:億円)	'23.1-3	'24.1-3	増減
営業収益	96,902	110,726	+13,823
営業利益	6,269	11,126	+4,857
営業利益率	6.5%	10.0%	
営業外損益	1,725	4,953	+3,227
持分法による投資損益	1,683	1,669*	△13
税引前利益	7,994	16,080	+8,085
親会社の所有者に帰属する四半期利益	5,522	9,976	+4,453
四半期利益率	5.7%	9.0%	
為替レート			
米ドル	132円	149円	17円円安
ユーロ	142円	161円	19円円安

* うち、日本903 (前年同期比+229)、中国480 (同△340)、その他285 (同+97)

(ご参考) 連結営業利益増減要因(3ヶ月)

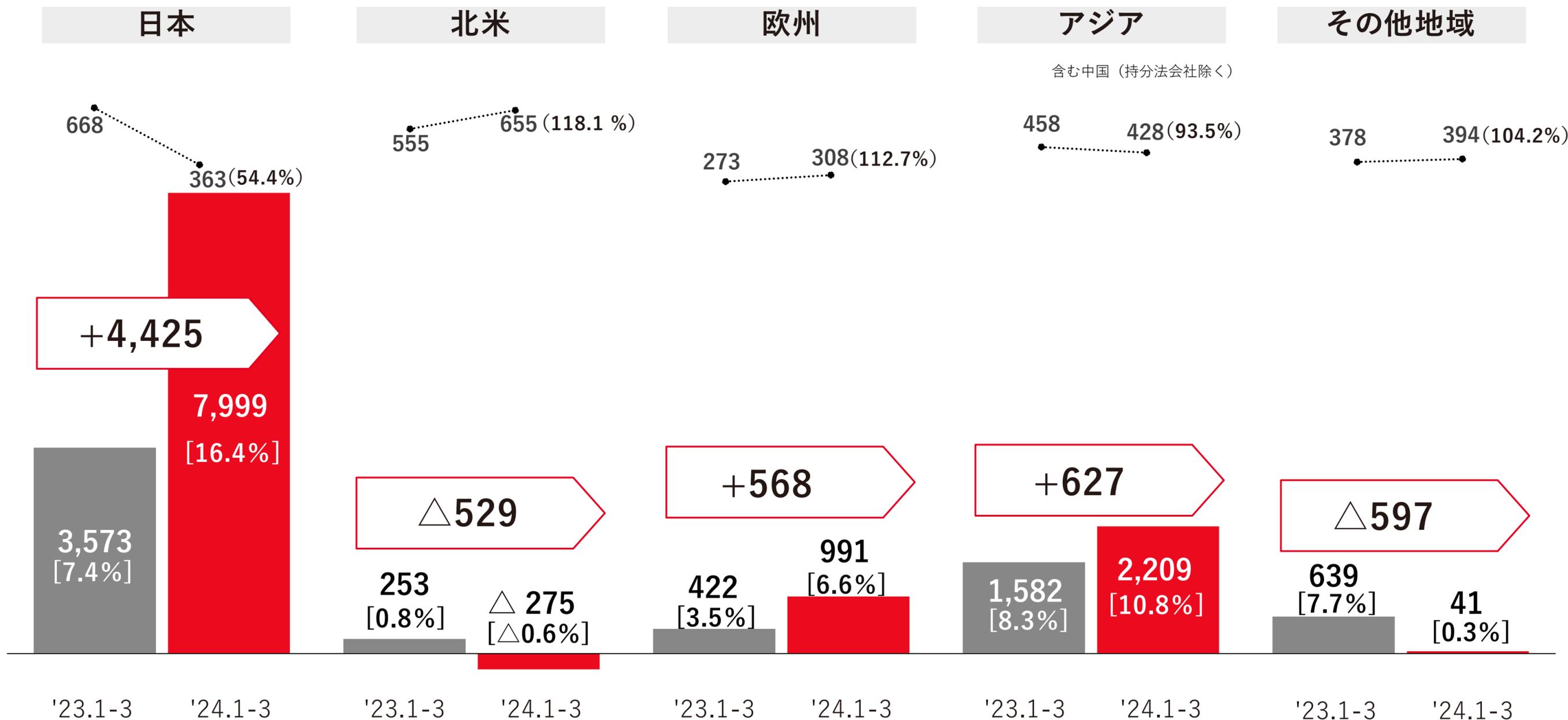
(単位: 億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	+2,800	台数・構成	△750	労務費	△1,000	スワップ等の評価損益	+327
- 米ドル	+2,000	バリューチェーン	△200	減価償却費	△150	ロシア生産終了 (前期の一時費用)	△45
- ユーロ	+400	- 金融事業	△200	研究開発費	+150	インフレ会計等の影響	△838
- その他通貨	+400	- 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	±0	経費ほか	+200	その他	+1,213
海外子会社の営業利益換算差ほか	+250	その他	+1,050				

(ご参考) 所在地別営業利益(3ヶ月)

■ 営業利益 (億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> [] 営業利益率 ●---● 連結販売台数 (千台)



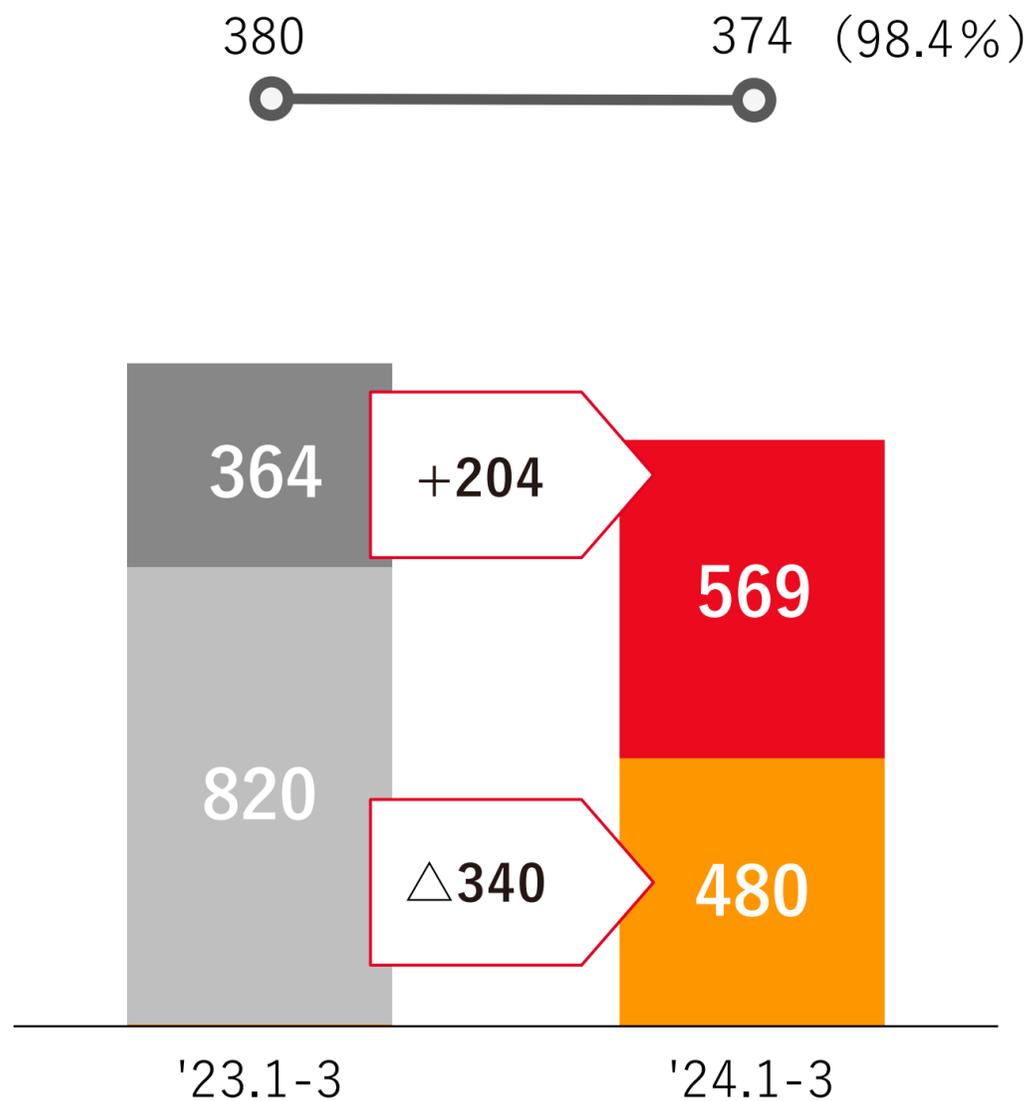
金利スワップ取引などの評価損益を含む営業利益 (億円)

3,601	7,990	142	△102	407	1,025	1,540	2,159	553	△6
-------	-------	-----	------	-----	-------	-------	-------	-----	----

(ご参考) 中国事業/金融セグメント(3ヶ月)

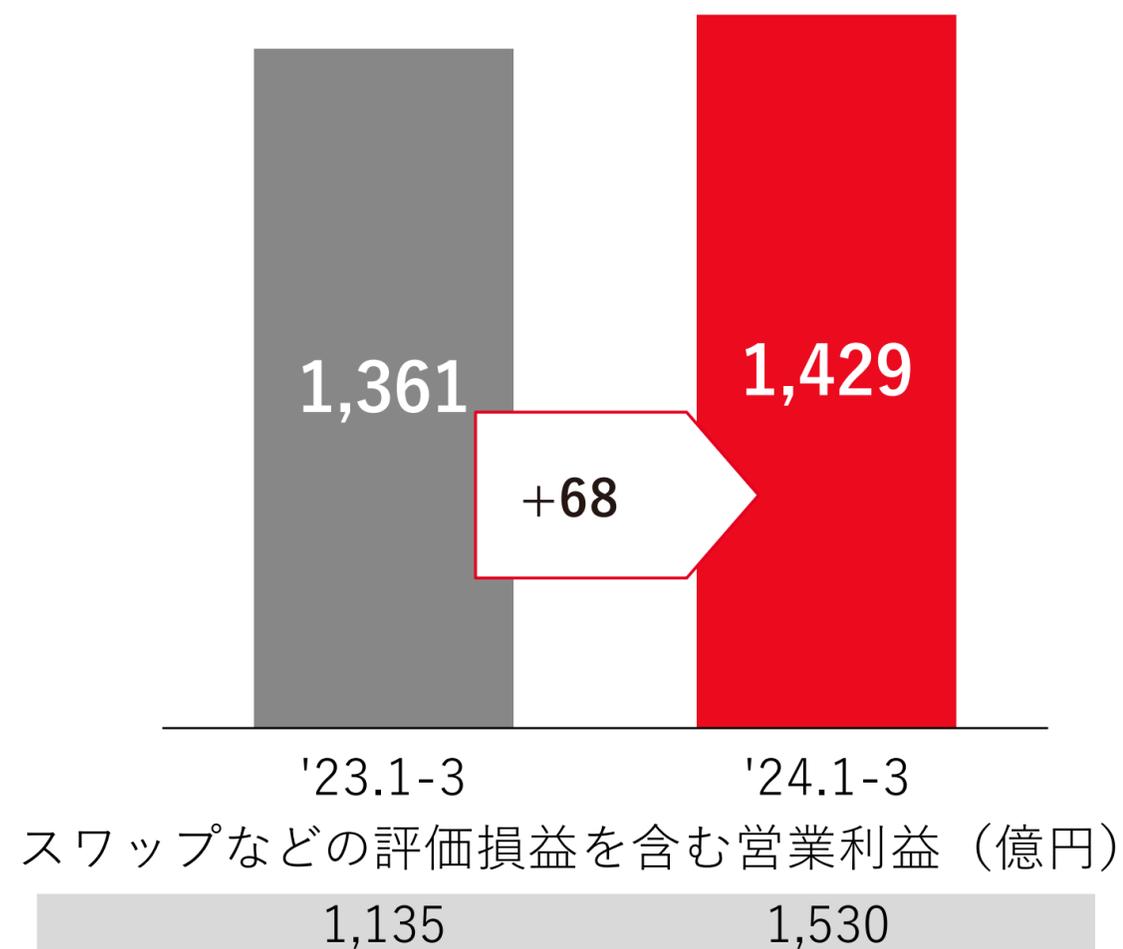
中国事業 (ご参考)

- 連結子会社 営業利益 (億円)
- 持分法適用会社 持分法による投資損益 (億円)
- トヨタ・レクサス販売台数 (千台)



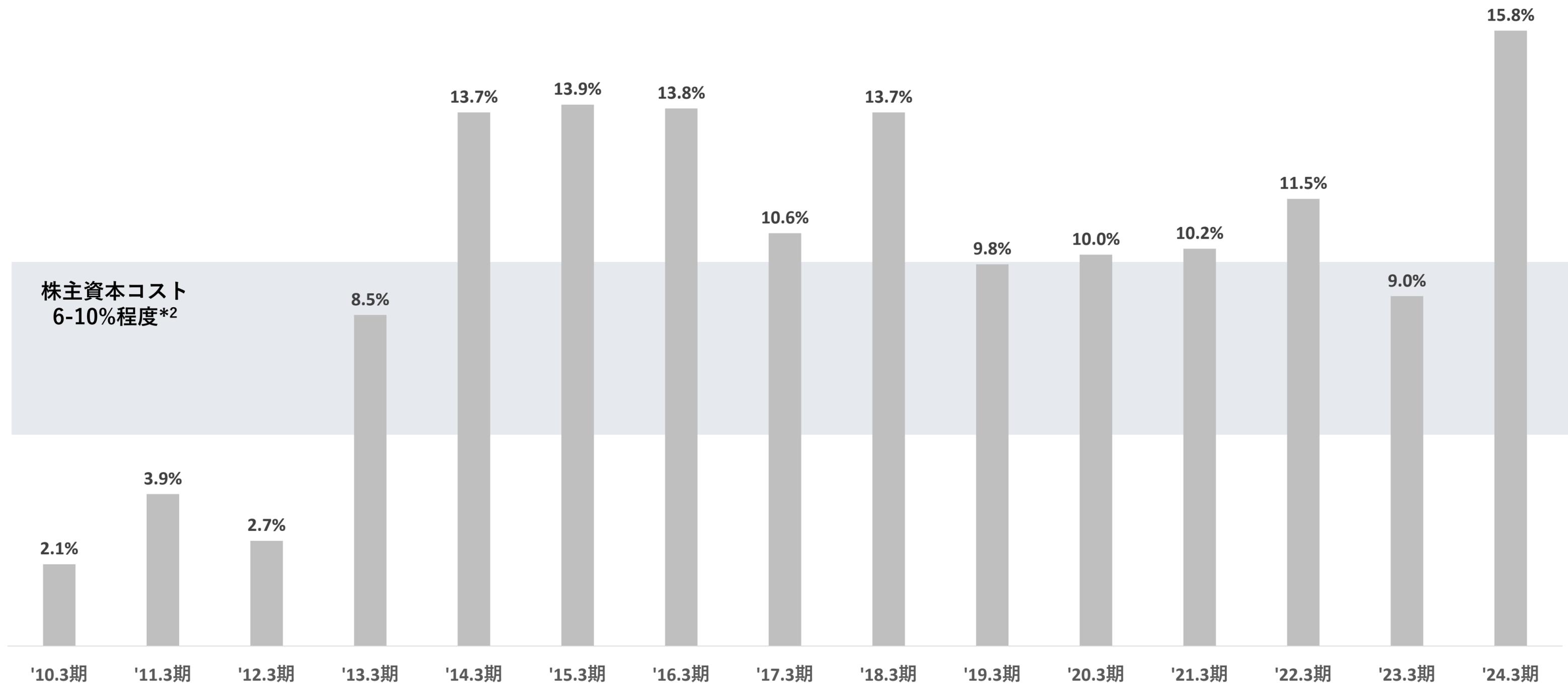
金融セグメント

- 営業利益 (億円) <スワップなどの評価損益を除く>



(ご参考) ROEの推移

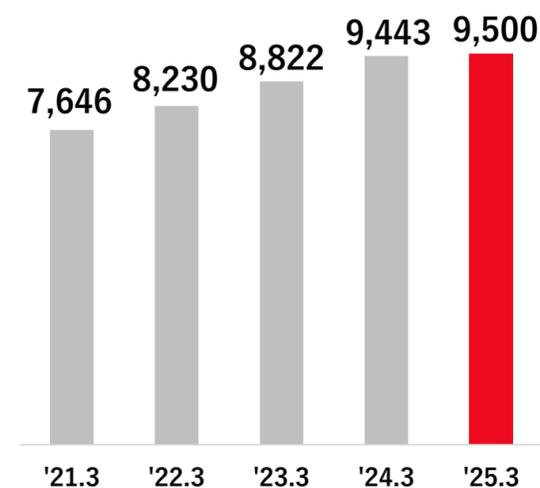
ROE（親会社所有者帰属持分当期利益率）の推移*1



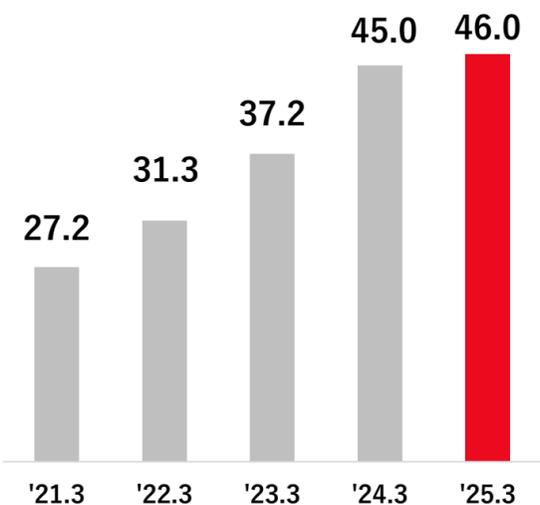
*1 '10.3期-'19.3期：米国会計基準、'20.3期-'24.3期：国際財務報告基準（IFRS） *2資本資産価格モデル(Capital Asset Pricing Model)に基づく当社推計

(ご参考)業績推移

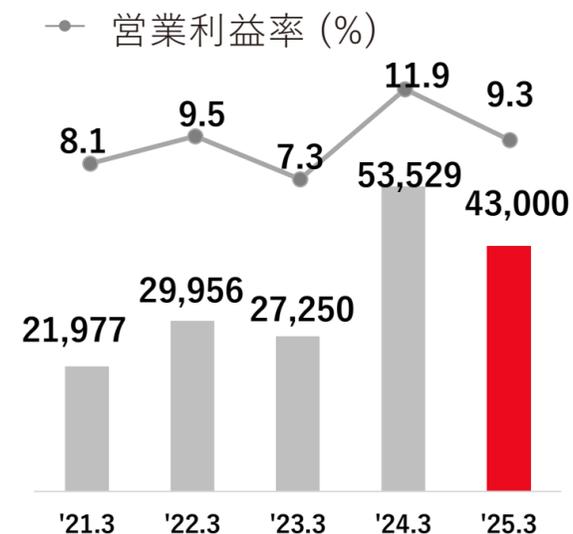
連結販売台数 (千台)



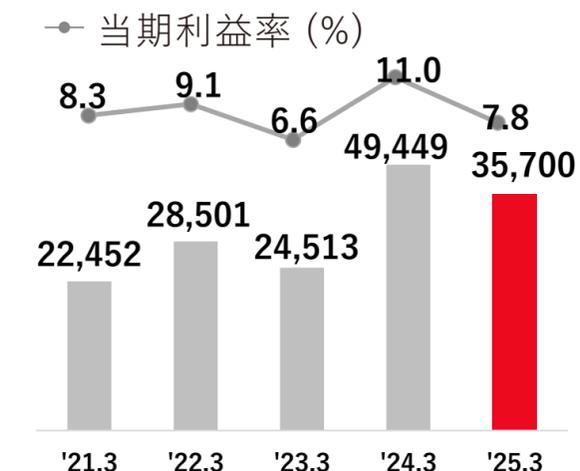
営業収益 (兆円)



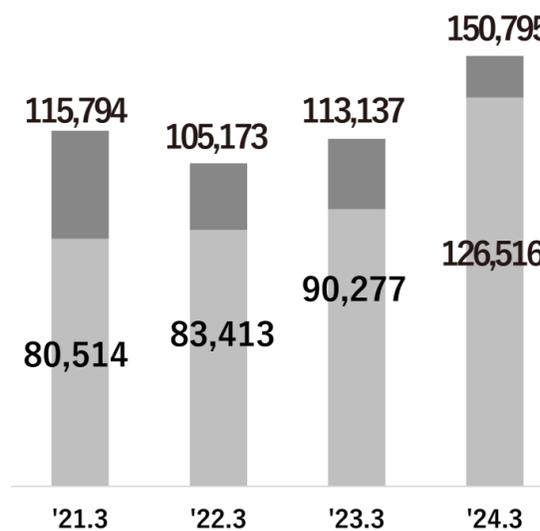
営業利益 (億円)



親会社の所有者に
帰属する当期利益 (億円)



総資金量*1 (億円)

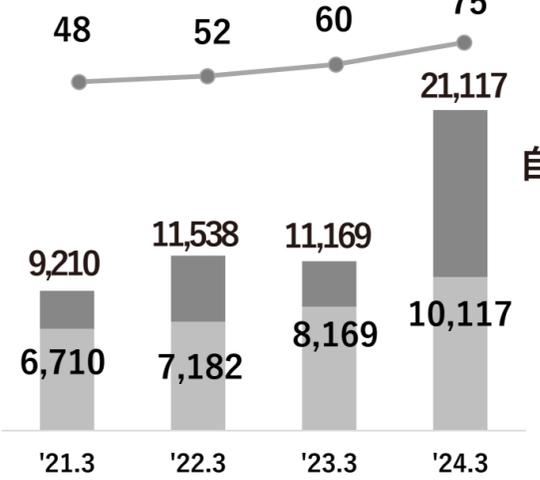


有利子
負債*2

ネット
資金量

総還元額 (億円)

普通株式1株当たり配当金*3 (円)

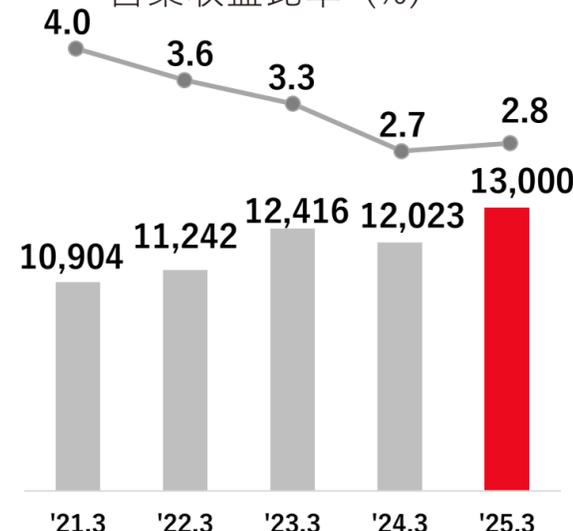


自己株式
取得

配当

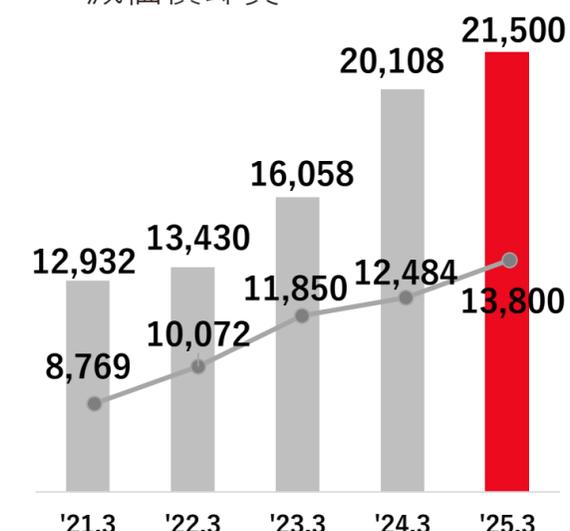
研究開発費*4 (億円)

営業収益比率 (%)



設備投資 (億円)

減価償却費



*1 金融事業を除いた、現金および現金同等物、定期預金、公社債および信託ファンドへの投資

*2 リース債務は含まない

*3 1株当たり配当額は株式分割（当社普通株式1株につき5株の割合で2021年10月1日に実施）後ベース

*4 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額

■ 見通し

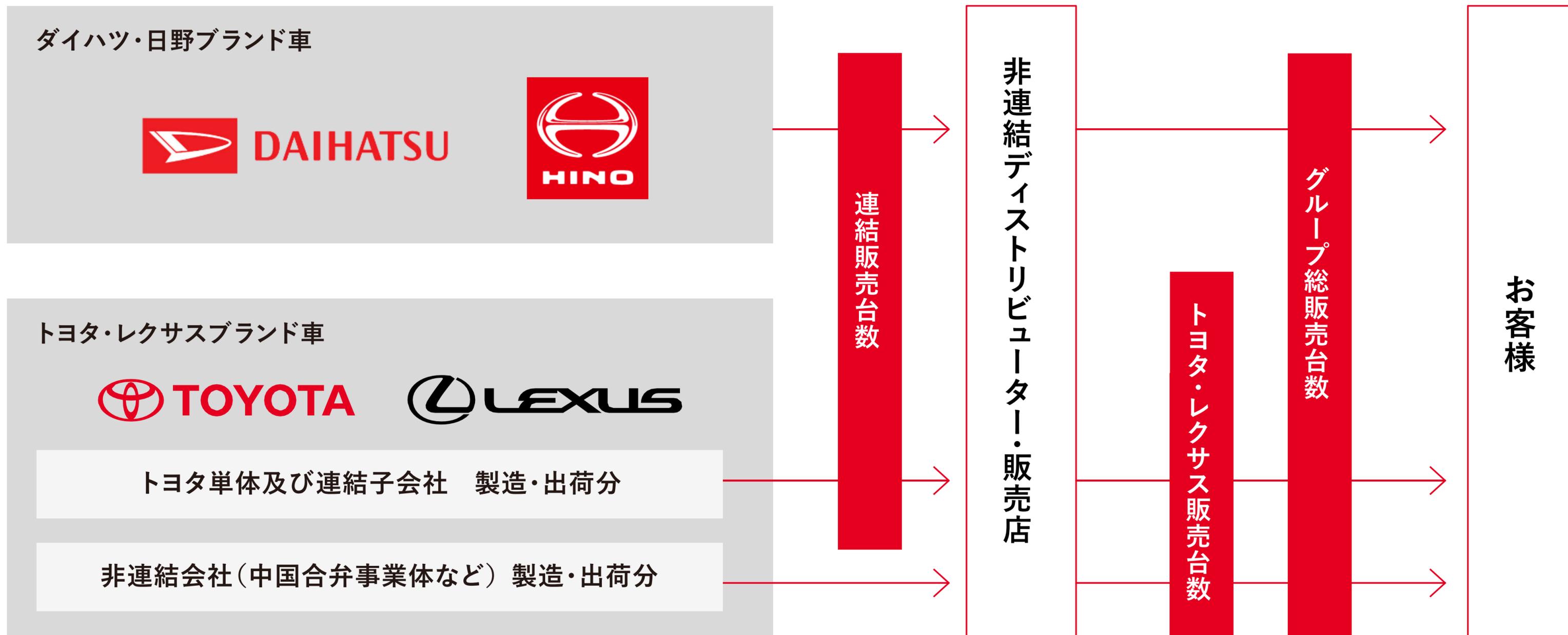
(ご参考) 台数見通し

(単位：千台)

			'24.3期 実績 '23.4 - '24.3	'25.3期見通し '24.4 - '25.3	増減
トヨタ・レクサス	生産 *	国内	3,309	3,350	+41
		海外	6,663	6,650	△13
		合計	9,972	10,000	+28
	販売 (小売) *	国内	1,530	1,550	+20
		海外	8,780	8,850	+70
		合計	10,309	10,400	+91
グループ総販売(小売) *			11,090	10,950	△140

* 非連結会社による台数を含む

(ご参考) 販売台数について



*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り